

ユニバーサルデザインはどうして生まれたの？

ユニバーサルデザインの考え方はアメリカで生まれました。
アメリカの大学で建築などの研究をされていた、ロナルド・メイス教授が1980年代に広めた
ものです。

教授は幼い頃の病気がもとで、電動車いすを使って生活をしていました。
当時のアメリカでは「バリアフリー」という考え方がさかんに使われていました。

バリアフリー (BARRIER FREE) とは？

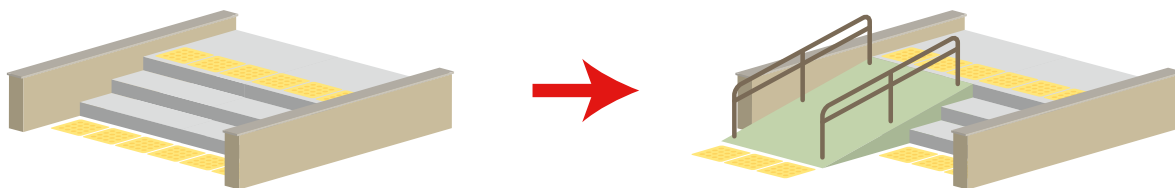
バリア (barrier)・・・障壁、障害物

フリー (free)・・・自由な、(道路・通路など) 自由に通行できる

たとえば、車いすを利用している人が階段をのぼりおりすることは容易なことでは
ありませんね。でも、その階段にスロープをつければ、以前より簡単にのぼりおりする
ことが可能になります。

バリアフリーを日本語に置き換えると、

「特定の誰かのための取り組みをおこなうこと」 となります。



「最初からみんなにやさしいデザインを！」

バリアフリーはバリアを見つけるたびに、それを取り除くような取り組みをしなければ
なりません。

教授は「できるだけ多くの人を使いやすいデザインを初めから考える」ことが必要と考
え、ユニバーサルデザインの考え方を広めていきました。

1990年代になると、日本にもその考え方が徐々に取り入れられ、広まってきました。
ユニバーサルデザインをもっとやさしく言いかえると

「最初からみんなにやさしいデザインを考えること」 となりますね。



ユニバーサルデザインは「みんなにやさしい」から、
バリアをつくらないってことなんだね！！

